

令和4年12月7日、本校体育館で「民族歌舞団 荒馬座」による公演が行われました。これは、感染症対策の観点から学校生活にさまざまな制約を受けている子供たちに向けて「みる・きく・ふれる」体験を提供し、子供たちに笑顔を取り戻してもらうことを目的とする「子供を笑顔にするプロジェクト」の一環として行われたものです。



民族
歌舞
団

荒馬座



エイサー、獅子舞、花笠おどり、ぶち合わせ太鼓、ソーラン節など、様々な演目に生徒たちは釘付けでした。音や動きに合わせて自然と身体が動き出す、楽しい時間を過ごすことができました。

日本の伝統芸能・文化に触れることは、国際理解や国際交流を深めることにつながります。このような芸術・文化団体と連携した芸術体験など、本校では2020大会後も続いていくレガシーとして、今後も積極的に取り組んでいきます。